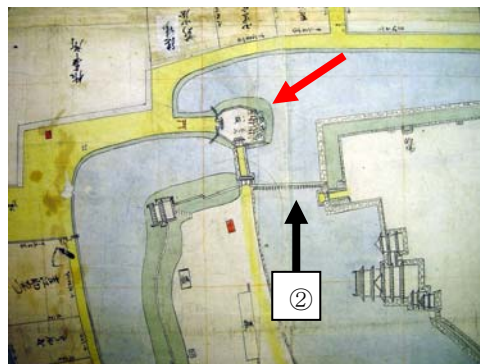


5-1 二の丸案内(1) 花畑・御城米蔵・茶屋・内堀・

今回は二の丸の西側についてお尋ねします。正しいものに○をつけてください。

- 1 右の図は「享保十二年秋改<sup>あきあらため</sup>松本城下絵図」です。赤矢印の部分には若宮八幡が祀られています。現在このお社はありません。大正9年に□□神社に移されました。遷座先の神社の現在の名前を答えなさい。 ④松本神社  
大正9年に五社内に移され、昭和29年五社は松本神社となりました。



- 2 若宮八幡社に祀られていた武将は誰でしょう。 ②島立右近貞永<sup>きだなが</sup>  
深志城を整備した小笠原氏の一族島立右近貞永が永正14年7月28日93歳で没するとその嫡子貞政が家督を継ぎ、父貞永を赤矢印の所に葬り、その墓の前に廟を営んで神と崇め深志城の鎮守とした。これが若宮八幡である。

- 3 写真は寛文10年(1670)松本城主であった水野忠直が若宮八幡社殿を新築した際、もとの社殿を貰いうけてある村の若宮八幡社としたもので現在、「国の重要文化財」になっています。写真の若宮八幡社は松本市のどこにあるでしょう。 ④三才<sup>さんざい</sup>(筑摩)  
※筑摩3丁目6の2 三才公民館横・アップルランド筑摩店南



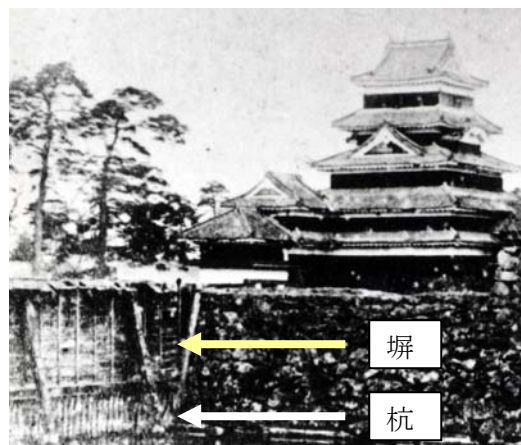
- 4 現在の埋<sup>うづみのほし</sup>橋は朱に塗られた折れ橋で昭和30年に観光客用につくられたものですが、江戸時代、ほぼ同じ場所に、杭列の上に木の塀が建てられていました。内堀と外堀を仕切る施設でした。当時、この施設をなんと呼んだでしょう。(1の写真矢印②)

①足駄塀<sup>あしだべい</sup>

右の写真は現在の二の丸御殿跡にある蔵と本丸との間の内堀にあった足駄塀。

- 5 乾小天守西側の内堀の幅は \_\_\_\_\_  
③約60m

当時の火縄銃の有効射程距離は約50mといわれ60mは迎撃できるギリギリの距離。

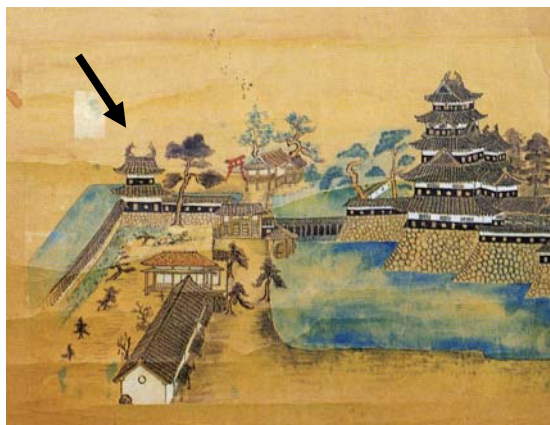


6 ……庭園に松が植えられていますが、この松は戸田光年が時の将軍から拝領した松でした。その将軍は誰でしょう。

② 11代 徳川家斉

天保9年6月7日戸田光年は松の盆栽を賜った。また同年9月18日庭園の松を賜った。ともに松本城内の庭園に植えた。

「深志城内曲輪全図」には「拝領松」の文字が見える。



7 右の絵は「深志城 内曲輪全図」に見られるお花畑です。梅や松・藤等が植えられています。赤矢印の花は黄色い松本城主ゆかりの花ですが、その植物名は何でしょう。

③ 連翹



連翹紋



レンギョウ



深志城内曲輪全図

8 問題6の絵図で茶屋の下側に御城米蔵（「八千俵蔵」）が描がれています。この蔵には最大8000俵の粃が備蓄できました。では粃8000俵は玄米でおよそ何石でしょう。

② 2000石

粃1俵は5斗入りである。2俵で粃1石。したがって、粃8000俵は粃4000石である。

江戸時代は粃から玄米にする場合、「五合摺り」といって、1升の粃は5合の玄米となった。すなわち粃の量の半分が玄米の量となる。したがって、粃4000石は玄米2000石である。八千俵蔵の大きさ 15間×3間（27m×5.4m）

9 問題6の絵図の黒矢印の所に「隅櫓」が見えます。この櫓の名前を答えなさい。

④ 西北櫓

10 水野時代の二の丸西側には庭園はなく、4つの武器庫と2つの番屋が見られます。この武器庫には何が保管されていたでしょう。

① 火薬 —— 焰硝蔵と書かれている。